

時間	内容
14:00～14:10	本日の開催内容のご案内 日本クラウドセキュリティアライアンス事務局
14:10～14:40 	<b>基調講演1: 大和敏彦氏 CSAジャパン副会長「クラウド活用の変遷とセキュリティ脅威」</b> デジタル化の進展をクラウドは支えてきた。コンピュータリソースを持つモデルから、クラウドのリソースを使うモデルへと変革し、さらにコンテナ、マイクロサービス等のテクノロジーによってクラウドネイティブな時代を迎えた。生成AIの登場は、チャットサービスやSaaSなどのアプリケーションでの活用だけでなく、クラウド自身のインフラサービス等クラウドに様々な変革をもたらしつつある。一方、デジタル化が広がるにつれサイバー攻撃も増加している。サイバー攻撃にも、生成AIは便利なツールとして使われている。この講演では、クラウドの変遷と今後、セキュリティ脅威の現状と対策をお話します。
14:40～15:10 	<b>基調講演2: 笹原英司氏 CSAジャパン代表理事「欧州セキュリティ認証制度(EUCC)とCSA STAR/CCM」</b> CSAは、欧州連合サイバーセキュリティ庁(ENISA)、欧州データ保護監察機関(EDPS)などと連携しながら、欧州域内におけるクラウドセキュリティの標準化・啓発活動を活発に行っています。本講演では、CSA STAR/CCMを活用して、クラウドセキュリティ強化策に取り組むイタリヤの事例を紹介した上で、欧州全域共通のサイバーセキュリティ認証制度構築に向けたコア技術領域(クラウド、AI、5G/IoTなど)の動向について概説します。
15:10～15:20	休憩
15:20～15:50 	<b>WG講演1: 笠松隆幸氏 CSAジャパン AI WG: 「AIセキュリティ」</b> 本AI-WG講演では、日本支部のCSAJ-WGと米国本部のCSA-WGの検討内容を議論した点について、大きく2つの章立てで紹介いたします。①最初に情報セキュリティとAIセキュリティの違いを紹介し、②次にAI組織の責任について、定量化可能な評価基準、役割定義のRACIモデル、ハイレベルな実装戦略、継続的な監視と報告、アクセス制御のマッピング、基礎的なガードレールなど6つの対策を紹介いたします。①と②を通して、組織が責任ある安全なAIの設計・開発・展開・利用に関わる義務を果たすために、皆様の良き指針となれば幸いです。
15:50～16:20 	<b>WG講演2: 諸角昌宏氏 CSAジャパン CCM WG: 「Cloud Controls Matrixの全体像」</b> CSAが提供しているクラウドセキュリティの管理策である Cloud Controls Matrix (CCM) について改めて説明します。CCM V4 になって、新たにImplementation Guidance と Auditor Guidance を加えています。これにより、クラウドサービスへのセキュリティの実装、および、監査人によるクラウドサービスのセキュリティ評価が非常にやり易くなっています。本講演では、CCMの構造、上記ガイダンスの内容等について説明します。
16:20～16:50 	<b>WG講演3: 根塚昭憲氏 CSAジャパン CASB WG: 「AIを活用したクラウドセキュリティの自動化」</b> 現在、クラウド環境は複雑化し、セキュリティリスクも増加しています。クラウドとセキュリティの両方に対応できる人材も不足しており、クラウドセキュリティの運用はますます困難になっています。本セミナーでは、AIを活用したクラウドセキュリティの自動化がどのようなメリットをもたらすのかを詳しくご紹介します。AI技術がどのようにリアルタイムで脅威を検出し、インシデント対応を効率化することでセキュリティ管理者の負担を軽減できるのかを、最新のツールや具体的な事例を通じて解説します。
16:50～17:00	休憩
17:00～17:30 	<b>スポンサー講演: 藤田哲也氏 メイソンコンサルティング株式会社 代表取締役 「サプライチェーン防衛: 事業を支える強靱なサプライチェーンセキュリティ構築の戦略」</b> サイバー攻撃のリスクが増す中、多くの企業がサプライチェーン全体での対策を十分に講じていません。本講演では、リスク評価、スクへの対応、経営者の意思決定情報を軸に、クイック診断を活用したセキュリティ戦略と経営層の役割を解説します。
17:30～18:30   	<b>パネルディスカッション: 「クラウドサービスと個人情報保護」</b> ファシリテーター: 山崎英人氏 CSAジャパン クラウドプライバシーWG パネリスト: 加藤尚徳氏 KDDI総合研究所グループリーダー、一般社団法人次世代基盤政策研究所理事・事務局長 倉持尚剛氏 CSAジャパン クラウドプライバシーWG クラウドサービスには様々な形態がある。一方個人情報保護法やGDPRでは事業者やプロセッサという形でしか語られておらず、取得・利活用・委託・第三者提供など様々な取扱い時のルールが定められている事から、データ主体・事業者など多角的な視点で個人情報保護の在り方について討論を行いたい 今年に入って、個人情報保護委員会から発せられた行政処分・指導についても語り合いたい。
18:30～18:35	閉会挨拶 寺尾敏康 日本クラウドセキュリティアライアンス 事務局
18:35～	懇親会

\* 随時更新しますので、最新版はウェブページをご確認ください。